

www.r-toolbox.jp

toolbox

## ウッドシーリング

### 目次

施工前にご確認ください	1
断面図 / 施工する上で必要なもの	2
施工手順	3
施工後の点検 / 施工後の注意点	5

### 安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。  
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、  
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、  
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ  
いけない注意事項



やってはいけない  
注意事項



しなければいけない  
強制事項

株式会社 TOOLBOX

URL [www.r-toolbox.jp](http://www.r-toolbox.jp)  
E-mail [contact@r-toolbox.jp](mailto:contact@r-toolbox.jp)

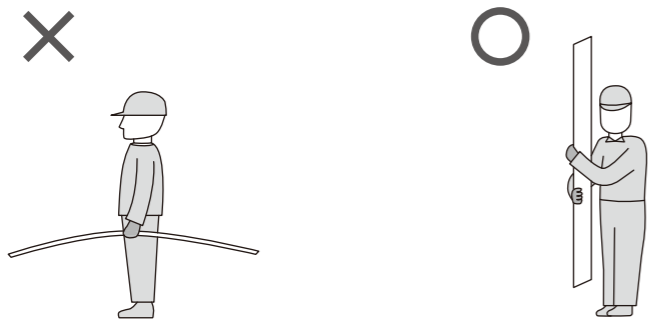
# 施工前にご確認ください

## ■ 到着したら

- 製品の品番、数量に誤りが無いか、また損傷が無いかご確認ください。
- 保管は水のかかりやすい場所、湿気の多い場所、直射日光のあたる場所を避けてください。

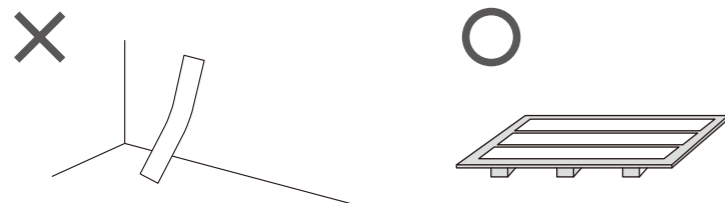
## 運搬

- ❗ **水平に持ち上げず、垂直に持ち上げてください。**  
水平に持つと重心が集まり、割れる危険性がありますので、垂直に持ってください。

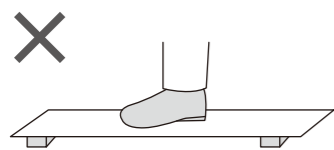


## 保管方法

- ❗ **パネルは立てかけ保管は厳禁です。必ず平置きをしてください。**  
パネルを立てかけたままにすると反る恐れがあります。  
平置きの際は、必ず合板などの敷板を使ってください。輪木だけの場合は3本使いにしてください。



- ⊘ **踏みつけは厳禁です。**  
パネルが割れてしまいます。



## ■ 下地について

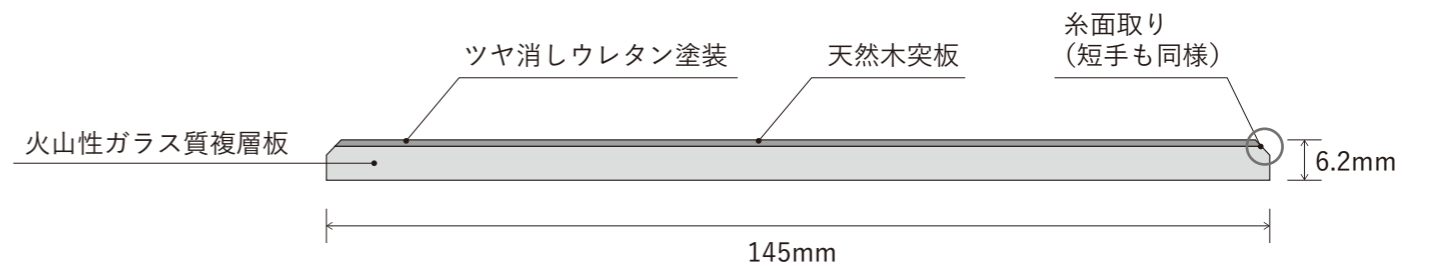
推奨下地	天井：プラスターボード 9.5mm 壁：プラスターボード 12.5mm
------	--

- コンクリートやタイル面への直貼りは、下地水分による変色、劣化の恐れがありますので避けてください。
- 柱、間柱、胴縁は、乾燥したソリがないものを使用し、合板の継ぎ目と羽目板の継ぎ目が重ならないように割り付けてください。
- 石膏ボードに施工する場合は、石膏ボードの継ぎ目と羽目板の継ぎ目が重ならないようにしてください。

## ■ 仮並べについて

- 天然木の為、同じ物は二つとしてありません。必ず仮並べをした後に施工に入ってください。
- 色むら、木目違いがありますので、施工前に仮並べし色柄を調整してください。傷や塗装の塗リムラがないか等も確認してください。
- 部屋の形状及び張り方向のデザインに応じて隅の納まりを考慮し、極端な小幅材が出ないように割り付けを行ってください。
- 木口部分をつなぐ際、微妙な巾違いが見られるケースがあります。仮並べをして木口部分の巾合わせを行ってください。

## 断面図

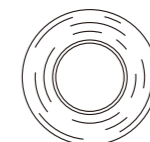


## 施工する上で必要なもの

副資材 **ボンド MPX-1 (ホワイト・グレー) [コニシ]**  
1㎡あたり 1本が使用量の目安です。



副資材 **ボンド TM テープ W1-20 [コニシ]**  
1㎡あたり 1.4本が使用量の目安です。



# 施工手順

## 1 下地の確認と清掃

- 下地は不陸のないように仕上げる。
- 下地表面のゴミ・油・サビなどをよく落とし、十分に乾燥させる。

## 2 墨出し・割付け

- ① 被着材の寸法・形状に合わせて、下地に墨出し、割付けを行う。
- ② 下地または化粧材に両面テープのはり合わせ位置・ボンドの塗布位置を決める。

## 3 両面テープのはり合わせ

- ① 被着材裏面のあらかじめ定めた位置に両面テープをはり合わせる。
- ② はり合わせた後にローラーをかけ、十分に被着材と密着させる。

### ⚠ 注意

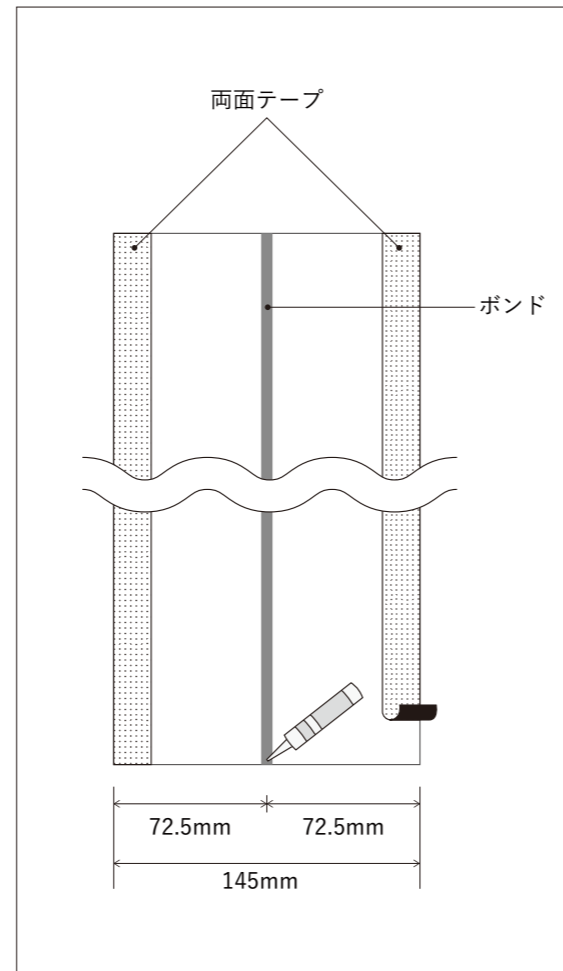
- ⚠ 両面テープの粘着面には直接手を触れないでください。
- ⚠ 一度剥がしたり剥がれたりした両面テープは、再使用せずに必ず新しいものを使用してください。

## 4 ボンドの塗布

被着材裏面のあらかじめ定めた位置に、ボンドを塗布する。  
※ 原則としてビード状（線状）塗布を行う

### ⚠ 注意

- ⚠ いったん硬化した接着剤は有機溶剤で取り除くことはできません。被着材の表面などに付着した場合には、すみやかに乾いた布または少量の有機溶剤を含ませた布で拭き取ってください。なお有機溶剤を使用する場合には、被着材表面に影響がないか確認の上ご使用ください。



## 5 両面テープのはく離紙の除去

テープ本体が接着面からはがれないように注意しながらはく離紙をはがす。

## 6 被着材のはり合わせ

- ① 被着材を所定の位置にはり合わせる。
- ② 被着材の上から両面テープの位置を充分に加圧し、下地面と密着させる。

### ⚠ 注意

- ⚠ 被着材のはり合わせは、ボンドの塗布後 10 分以内に行ってください。
- ⚠ 一度はり合わせた被着材は、ずらしなどの位置修正はできません。

## 7 養生

ボンドが硬化する間（23°Cの場合 24 時間）養生する。

## 施工後の点検

---

施工完了後、次の項目を確認してください。

- |                        |
|------------------------|
| • ボンドの打残はないか           |
| • パネルが壁に浮かずに密着設置されているか |

この施工マニュアルは、一例を示したものです。

## 施工後の注意点

---

- 施工後、表面剥がれの原因となりますので直接養生シートを貼らないでください。
- 湿度、温度(日当たり)により、伸縮・ソリ等が生じる恐れがあります。